

滋賀県立大学 *SDGs week* を開催しました！

(2022年11月5日～11日)

2022年11月5日～11日までを「滋賀県立大学 *SDGs week*」として、学生が企画したSDGsの取組を実施しました。

【*SDGs week* の企画会議】



学内からSDGs学生実行委員を募集して11名が集まってくれました。

実行委員がイベント開催にむけて検討を重ねました。

「大学と地域との連携によるCO2ネットゼロへの取組」

基調講演・意見交換（11月5日(土)）

千葉エコ・エネルギーシステム（株）の馬上 丈史氏に本学に来ていただき、講演会を開催しました。脱炭素社会やSDGsについて講演があり、地域の皆さんも参加して会場からの多くの質問が出ました。

その後、馬上氏と本学の工学部秋山准教授と環境科学部白木講師による意見交換を実施しました。カーボンニュートラル社会の実現に向けて大学が果たす役割について、本学にとって、有意義な意見交換をしていただきました。



GINZA CHAIRING CAFE (11月7日)

彦根市の銀座商店街の空きスペースに椅子を置いて座る「チェアリング」を実施しました。普段とは異なる視点で「まち」を見ながら、商店街の方や地域の人とまちの将来や可能性を話し合いました。



SDGs^{さろん}茶論 (11月8日~11日)

日替わりでSDGsのテーマに沿ったゲストを迎え、対話を通じて社会や地域の課題解決の道筋を考えました。学生からは「講義では得られない、現場の声が参考になった。」「地域との新たなつながりができた。」「異なる考え方を学ぶことができた。」などの感想が寄せられました。

【質の高い教育】 (8日)

長浜バイオ大学の学生と県大生が、コロナ禍での学生のつながりや学びのあり方について意見交換しました。大学による履修システム違い、主体的によりよい学びを得るための活動などについて議論し、学生同士の情報共有と交流を深めました。



【自由・共生】（9日）



イカハッチンプロダクション（長浜市に移住された女性のグループ）の方と自分たちのスキルを生かしながら「楽しく」仕事をし、地方で「楽しく」生きることについてトークをしました。



【働くトーク】（9日）

（株）彦根麦酒、ハコミドリ（アート）、（株）アアルズ（琵琶湖産木材加工業）の方たちと学生が「働くこと」について意見交換をしました。事業を運営すること、社会課題にレスポンスすることなどの話題を提供していただきました。



【SDGs シネマ】（10日 16:30～、18:30～2回上映）



映画「もったいないキッチン」上映会。

世界各地で食材の無駄をなくすため、ユニークでおいしく楽しい取組をしている「もったいないキッチン」を題材にフードロス削減について参加者による意見交換をしました。



【多様性と学び/留学生とのトークセッション】（11日）

留学生と学生が教育における文化的な違いについて、英語を主としたトークセッションを実施しました。コロナ禍での留学生との交流の機会を生みだしました。



【多様性/HAFU（ハーフ）】（11日）

映画「HAFU」を上映した後、本学の人間文化学部河准教授とゲストが国籍や人種によらない社会の多様性についてトークセッションしました。急激に多様化する日本の現状や地域が抱える課題について活発な議論や交流が行われました。同時に本学の図書館において関連図書のコナーも設置しました。



リラクゼーションスペース（11月8、10、11日）

SDGs week の期間中の昼休みに、日ごろの疲れを癒し、すべての人に健康と福祉を広げることを目的に、交流センターホールをリラクゼーションスペースとして開放しました。

